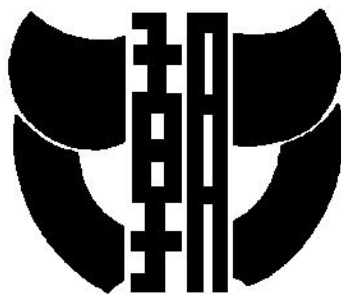


令和5年度 西朝明中学校 第2学年シラバス



授業は真剣勝負!

☆教科目標

☆各教科でつけたい力

☆学習方法についてのアドバイス

☆年間学習予定

第2学年 国語科 年間学習計画と評価

1. 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語2(光村図書) 新しい書写1・2・3年(東京書籍)
副教材	国語の学習2 日常に使える役立つ文法 国語便覧 たびたび漢字練習帳2

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項(漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等) (2)情報の扱い方に関する事項(文章や資料等の関係を理解や整理等) (3)我が国の言語文化に関する事項(伝統的な言語文化や書写等)	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト(定期、単元、技能等) ※技能テスト:音読、スピーチ、書写作品等 ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物(ノート、レポート、作品等)	・テスト(定期、単元等) ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物(ノート、レポート、作品等)	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物(ノート、レポート、作品等) ・振り返り

3 学習についてのアドバイス

学校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	見えないだけ(読) アイスプラネット(読) 問いを立てながら聞く(話・聞)	・言葉に対する感覚を磨き語彙を豊かにする。 ・登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して読む。 ・人物どうしの関係や、それぞれの考え方を読み取る。 ・筋道が通っているかどうかを考えながら聞く。
	枕草子(読) 情報整理のレッスン/思考の視覚化(情) 多様な方法で情報を集めよう(書)	・作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れる。 ・様々な情報を整理し、その関係を図で表す。 ・収集した情報を整理し、伝えたいことを明確にして書く。
	クマゼミ増加の原因を探る(読) 思考のレッスン1 具体と抽象(情) 魅力的な提案をしよう(話・聞) メディアを比べよう(情) メディアの特徴を生かして情報を集めよう/ 「自分で考える時間」をもとう(情)	・文章の構成や展開について、理解を深める。 ・文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読む。 ・具体と抽象の関係について理解する。 ・話の構成を工夫したり、資料などを使ったりしながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように話す。 ・文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の効果について理解する。
	短歌に親しむ/短歌を味わう(読) 言葉の力(読) 読書を楽しむ/翻訳作品を読み比べよう(読書)	・情景などを表す多様な語句に着目し、語感を磨く。 ・本や文章には、さまざまな考え方が書かれていることを知る。 ・本や文章などを通じて知りえたことを、今後の読書に生かす。
2 学 期	盆土産(読) 字のないはがき(読) 聞き上手になろう(話・聞) 表現を工夫して書こう(書) [推敲]表現の効果を考える(書)	・登場人物の言動や情景を表す語句に着目し、作品に与える印象を考えたり、人柄や心情を読み取ったりする。 ・随筆の味わい方を知り、日常の読書に生かす。 ・話の展開に注意して相手の思いや考えを受け止め、質問する。 ・相手や目的に応じて、伝えたいことが伝わるよう表現を工夫する。 ・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめ、文章を整える。
	モアイは語る(読) 思考のレッスン2 根拠の吟味(情) 根拠の適切さを考えて書こう(書) [討論]異なる立場から考える(話・聞)	・意見を裏づけるための、適切な根拠のあり方について理解する。 ・自分の考えと比べながら、文章の構成や論理の展開を吟味する。 ・根拠に説得力があるかどうかを吟味する。 ・自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。 ・異なる立場を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる。
	立場を尊重して話し合おう(話・聞) 月夜の浜辺(読) 扇的/仁和寺にある法師(読) 漢詩の風景(読) 自立語	・立場を明確にして、適切な根拠とともに意見を述べる。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・作品の特徴を生かし朗読し、古典の世界に親しむ。 ・古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ・漢詩を朗読し、独特の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。
3 学 期	君は「最後の晩餐」を知っているか(読) 「最後の晩餐」の新しさ(読) 魅力を効果的に伝えよう(書) 研究の現場によろこ(読書)	・文章の構成における具体と抽象の関係を理解する。 ・文章の構成や表現の効果を理解する。 ・魅力が読み手に伝わるように、表現の効果を考えて書く。 ・本や文章などを通じて知りえたことを、今後の読書に生かす。
	走れメロス(読)	・抽象的な概念を表す語句が、作品に与える印象を考える。
	構成や展開を工夫して書こう(書) 国語の学びを・振り返ろう(話・聞)(書) 用言の活用・付属語	・これまでの学習を振り返り、文章の構成や展開について理解を深めるとともに、場面の展開が明確になるように、構成を工夫する。 ・構成や表現を工夫し、わかりやすく情報を伝える。
	木(読)	・抽象的な概念を表す言葉などに着目して詩を読む。

※書写は、国語科の授業の中で年間20時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く。
- ・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書く。

第2学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科中学生の地理(帝国書院)新しい歴史(東京書籍)、地図帳(帝国書院)
副教材	社会の自主学习「地理2」「歴史2,3」(新学社) 白地図ワークシート「日本地理」(新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び日本の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の近世から近代の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 日本の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ノート・ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 ノート・ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料集を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	(歴) ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して、その特徴を捉える。 ・琉球や蝦夷地の人々の交流や結び付きを理解する。 ・農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ・戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の状況から考察し、表現する。 ・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。
	④地【日本のさまざまな地域】 (地)日本の地域的特色	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解する。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解する。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解する。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付ける。 ・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
	④日本の諸地域	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域の特

2 学 期	(地)九州地方 (地)中国・四国地方 (地)近畿地方 (地)中部地方 (地)関東地方 (地)東北地方 (地)北海道地方 ※日本の各諸地域のその時々状況によって各地方の学習順が入れかわることがあります。	色や地域の課題を理解する。 ・次の(1)から(5)までの考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 (1)自然環境を中核とした考察の仕方、(2)人口や都市・村落を中核とした考察の仕方、(3)産業を中核とした考察の仕方、(4)交通や通信を中核とした考察の仕方、(5)その他の事象を中核とした考察の仕方 ・日本の諸地域において、それぞれ上の(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
	(歴)【近世の日本】 (歴) ヨーロッパ人との出会いと全国統一	・古代のローマ帝国と比較して、ローマ帝国の分裂とそれに伴うキリスト教会の分裂を理解する。 ・ルネサンスと宗教改革を通して、ヨーロッパ世界の変化の様子を理解する ・主にアジアとイスラム商人との関係から、ヨーロッパ人が海外に進出した理由を考察し、表現する。 ・掲載資料から、鉄砲とキリスト教が日本の社会に広まった様子を捉える ・織田信長と豊臣秀吉によって全国が統一されたことを理解する。 ・太閤検地と刀狩によって、社会がどのように変化したのかを考察し、表現する。 ・ヨーロッパ人の来航によって生まれた文化の様子とその影響を理解する。
	3 学 期	
	(歴)江戸幕府の成立と対外政策	・約260年続く平和な時代が生まれた理由を考える。 ・江戸時代の政治制度のあらましと、幕府による大名や朝廷の統制について、大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。 ・江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ・百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことの意味を捉える。 ・江戸幕府の対外政策の変化について年表などから調べ、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考察し、表現する。 ・長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。 ・琉球との関係について理解する。 ・アイヌの人々との関係を理解する。

3 学 期	(歴) 産業の発達と幕府政治の動き	・農業の進歩や諸産業の発達の様子を調べ、そのあらましを理解する。 ・交通路が整備され、三都をはじめとする都市が発展したことを理解する。 ・文学や浮世絵の作品などからこの時期の文化の特色を理解する。 ・幕藩体制の基盤がゆらぎ、百姓一揆が起きたことを理解する。 ・国学と蘭学の発達や化政文化の特色について調べ、社会の動きとの関連を考察し、表現する。 ・外国船の接近とそれに対する幕府の対応について理解する。 ・浮世絵から江戸時代の人々の関心や生活の様子について理解する。
	(歴)【開国と近代日本の歩み】 (歴) 欧米における近代化の進展	・イギリスとアメリカで近代民主政治への動きが生まれたことに気づき、現代の政治とのつながりを捉える。 ・フランスで近代民主政治への動きが生まれたことに気づき、現代の政治とのつながりを捉える。 ・徴兵制や義務教育、政治参加を通じて、国民として一体感が高まったことを理解する。 ・ロシアとアメリカ合衆国が発展する過程で、さまざまな問題を抱えていたことを捉える。 ・イギリスから産業革命と資本主義社会が広がっていく過程を理解する。
	(歴) 欧米の進出と日本の開国	・イギリスを中心とする欧米諸国が、工業製品の市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出した過程を理解する。 ・ペリー来航から日米修好通商条約の締結までの過程、不平等な内容について考察し、表現する。 ・開国によって、日本の政治や経済はどのように変化したのかを捉える。 ・開国による政治的及び社会的な影響が、明治維新への動きを生み出したことを捉える。

	(歴) 明治維新	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していたことを理解する。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。 ・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。 ・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から土族の反乱が起きた過程を理解する。 ・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。
--	----------	---

第2学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学2(啓林館)
副教材	リピート学習・単元テスト

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・文字を用いた式と連立方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
・定期テスト・単元テスト ・授業の様子や発言内容	・定期テスト・単元テスト ・授業様子や発言内容	・小テスト・授業ファイル ・振り返り・自主学習ノート ・授業様子や発言内容

3 学習についてのアドバイス

学校	・これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 ・自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 ・ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
家庭	・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 ・授業で学習した内容に関連する問題(「学んで E-net!」の標準問題や発展問題)でしっかりと練習するようにしましょう。 ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	・式の計算 1 式の加法、減法 2 いろいろな多項式の計算 3 単項式の乗法、除法	(知)単項式、多項式、次数、同類項の意味を理解し、四則の計算をすることができる。 (思)単項式や多項式と数の四則の計算の方法を表現することができる。
	・文字式の利用 1 文字式の利用	(知)文字式を利用して、数量の関係や数の性質を説明したり、目的に応じて等式を変形したりすることができる。 (思)数の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式を使って説明することができる。
	・連立方程式 1 連立方程式とその解 2 連立方程式の解き方	(知)連立方程式の解き方について理解し、加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。 (思)一元一次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。
	・連立方程式の利用 1 連立方程式の利用	(知)事象の中の数量やその関係に着目して連立方程式をつくり、その連立方程式を解くことができる。 (思)連立方程式を具体的な場面で活用することができる。
2 学 期	・一次関数のグラフ 1 一次関数 2 一次関数の値の変化 3 一次関数のグラフ 4 一次関数の式を求めること	(知)一次関数において、変化の割合やグラフの特徴を理解し、与えられた条件から式を求めたり、グラフに表したりすることができる。 (思)身の回りの事象の中から、一次関数の関係を見いだすことができる。
	・一次関数と方程式 1 方程式とグラフ 2 連立方程式のグラフ	(知)連立方程式の解とグラフとの関係を理解し、グラフの交点を求めることができる。 (思)一次関数のグラフと二元一次方程式のグラフの関係や、連立方程式の解とグラフの関係など、複合的な見方ができる。
	・一次関数の利用 1 一次関数の利用	(知)一次関数を活用して問題を解決する方法について理解し、解くことができる。 (思)事象の中から、2つの数量の関係を見いだし、表現し、一次関数を利用して課題解決することができる。
	・平行と合同 1 角と平行線 2 多角形の角 3 三角形の合同	(知)様々な角や平行線の性質、平行線になる条件について理解し、角の大きさを求めることができる。合同な図形の性質や三角形の合同条件について理解することができる。 (思)図形の性質を、筋道を立てて説明することができる。また、三角形の合同条件を用いて、2つの三角形が合同であるかどうかを考察し、表現することができる。
	・証明 1 証明とそのしくみ 2 証明の進め方	(知)命題の仮定と結論、証明の進め方について理解することができる。 (思)図形の性質などを証明するために、見通しを立てて証明をかくことができる。
	・三角形 1 二等辺三角形 2 直角三角形の合同	(知)二等辺三角形の性質、直角三角形の合同条件、定義と定理、逆と反例について理解し、正しく使うことができる。 (思)三角形の合同条件をもとにして、二等辺三角形の性質や直角三角形の合同条件を論理的に導くことができる。

3 学 期	・四角形 1 平行四辺形の性質 2 平行四辺形になるための条件 3 いろいろな四角形 4 平行線と面積 5 四角形の性質の利用	(知)平行四辺形の性質、平行四辺形になるための条件について理解し、正しく使うことができる。長方形、ひし形、正方形、平行四辺形の定義やそれらの関係を述べることができる。 (思)三角形の合同条件をもとにして、平行四辺形の性質や平行四辺形になるための条件を論理的に導くことができる。平行線と面積の関係に着目して、面積を変えずに別の図形に変形する方法を考えることができる。四角形の性質を具体的な場面で活用することができる。
	・場合の数と確率 1 確率の求め方 2 いろいろな確率 3 確率の利用	(知)多数回の試行によって得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解することができる。樹形図や表などを利用して、いろいろな場合について確率を求めることができる。 (思)同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し、表現することができる。確率を用いて、不確定な事象を捉え考察し、表現することができる。
	・箱ひげ図 1 箱ひげ図 2 データを活用して問題を解決しよう	(知)箱ひげ図や四分位範囲などの必要性和意味を、既習のヒストグラムや代表値などと関連付けて理解することができる。 (思)問題を解決するために、箱ひげ図や四分位範囲などを用いてデータの傾向をいろいろな視点で考察し、判断することができる。

第2学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス2(啓林館)
副教材	理科の完全学習

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・発言内容 ・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容)	・定期・小テスト等 ・発言内容 ・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学 校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家 庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワークやドリルパーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	【生命】 生物の体とつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	・生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること、および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解する。 ・植物の葉や茎、根のつくりについての観察を行い、それらのつくりと、光合成、呼吸、蒸散のはたらきに関する実験の結果と関連づけて理解する。 ・消化や呼吸、血液の循環についての観察・実験を行い、動物の体が必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解する。 ・不要となった物質を排出するしくみがあることを理解する。 ・動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、そのしくみを感覚器官、神経および運動器官のつくりと関連づけて理解する。
2 学 期	【粒子】 化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量	・身のまわりの物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだす。 ・物質は原子や分子からできていることを認識する。 ・原子や分子は元素記号で表すことができることを知り、分子を化学式で示すことができる。 ・化学式・化学反応式によって、物質の組成や化学変化を表すことができる。 ・2種類の物質が反応して結びつく実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだす。 ・さまざまな化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明できるようにする。 ・さまざまな化学変化を化学反応式で表すことができる。 ・酸化と還元が同時に起きていることを見いだし、それらが日常生活にも多く利用されていることに気づく。 ・化学変化に伴う熱の出入りについて認識する。 ・化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を行い、化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと、および反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだす。 ・実験で得られた結果をグラフ化するなど、実験結果の処理についての技能を習得する。

	【地球】 地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き 4章 大気の動きと日本の四季	・地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解し、身のまわりの大気の状態を認識する。 ・身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて、気象要素の変化と天気の変化の関係をみいだす。 ・霧や雲のでき方を、空気中の水の変化と関連づけて理解する。 ・地球上の水がさまざまな状態で存在し、霧、雲、雨や雪はその循環の一部であることを認識する。 ・気圧配置によって、大気の動きが生じることを理解する。 ・日本付近の高気圧や低気圧の移動と、それに伴う天気の変化を、地球規模の大気の動きの一部として捉える。 ・大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが、日本の気象に影響を与えることを理解する。 ・日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら、日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解する。
3 学 期	【エネルギー】 電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界	・回路の基本的な性質や、電圧と電流の関係について規則性を見いだす。 ・実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得する。 ・日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べ、静電気と電流には関係があることを見だし、真空放電の実験から、電流の正体について理解する。 ・日常生活と関連づけながら、電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解し、直流と交流の違いを捉える。

第2学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
教科書	中学生の音楽 2・3 上(教育芸術社)、中学生の器楽 (教育芸術社)
副教材等	MY SONG (教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト（演奏・聴き取り等） ・楽譜、ワークシート、レポート等への記述内容 など		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束（音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など）を理解して、それらを生かして音楽の活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現（演奏）ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声（音）だけでなく周りの声（音）をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・楽譜やワークシートには、自分の思いや考え、感じたことを書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・授業等で興味をもった曲は、作曲家、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

学期	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・ 拍にのって、響のある声で合唱しよう。	夢の世界を
	パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ パートの役割を理解して合唱しよう。	翼をください
	音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう	・ 構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。	Let's Create!
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 旋律が重なり合っていくおもしろさを味わおう。	フーガト短調
	曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しよう。 ・ それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	「夏の思い出」
2 学 期	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しよう。 ・ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。	合唱コンクールの曲
	言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう	・ 言葉の抑揚を生かして旋律をつくろう。	My Melody
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・ 曲の構成に注目しながら、曲想の変化を味わおう。	交響曲第5番 ハ短調
3 学 期	楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう	・ 器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら器楽表現を工夫しよう。	ギター
	オペラに親しみ、その魅力を味わおう	・ オペラに親しみ、その音楽を味わおう。	「アイーダ」から
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・ 曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌おう。	心通う合唱

第2学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術2・3上、美術2・3下(日本文教出版)
副教材	美術資料 感じる表す美術(浜島書店)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題を考え、これまでに学習したことを活用して、制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを積極的に話し合いましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いつも見ているもの、身近なものでも見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ことをしてみましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	○オリエンテーション ・学びの実感と広がり・多彩な表現に挑むのはなぜだろう ○版画制作(シルクスクリーン) ・オリジナルバックをつくる ○色彩について ○私の手(デッサン)	2年生の美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、この1年で学ぶことや、これからの学習の見通しをもつ。 ・版画について学び、それぞれの特徴と用具などについて理解し、自分の作品制作工程に生かすことができる。 ・絵の具の特徴を学びポスター制作など、今後の制作に生かすことができる。 ・基本の形や特徴を捉えて描き明暗・立体感を表現できる。
2 学期	○ポスター鑑賞 ○版画制作(シルクスクリーンの鑑賞) ○ゲルニカ鑑賞 ・ピカソが伝えたかったことは何かを考える ○図法による平面構成をしよう ・ ○オリジナル和菓子をつくろう ・見て四季を感じられる自分だけの和菓子を作る ○仏像について知ろう ・シルクロードを経て時代と共に仏像がどのように変わっていったか知る	・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 ・構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 シルクスクリーンの美しさを感じ取り、他者との違いを知って、今後の制作に生かすことができる。 ・「ゲルニカ」を鑑賞し、作者ピカソについて知る。作者の生い立ちを知った後に鑑賞をしたことで感じ方に違いができる。 ・図形の特性を知り身につけ関心を持ち意図に応じて立体的に表現できる。 ・見て四季を感じられる自分だけの和菓子を作ることができる。 ・シルクロードを経て時代と共に仏像がどのように変わっていったか理解できる。

3 学 期	○絵巻物と漫画鑑賞 ・漫画と「鳥獣人物戯画」の共通点を知る	・作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ・発表意見や教師の解説、自分の考えから現代美術のよさや美しさ、面白さなどについてまとめる。
	○平面構成(鑑賞) ・技法を知り作品に生かす	・作図技法を知り作品に生かす

第2学年 保健体育

1. 教科の目標

目標(ねらい)	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するために資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	保健体育(大修館書店) ステップアップ中学体育(大修館書店) 保体ファイル 各種目に必要な施設・用具

2. 各教科でつきたい力

項目	内容	その力をつけるための具体的な方法 (評価するための材料)
知識・技能	- 各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 - 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 - 各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	- 実技テストによる記録、得点 - 技能の正確さ、安定性、表現力 - 運動時の実践力
運動・健康・安全についての思考・判断	- 運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 - 個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	- 授業中の発言内容や活動内容の状況 - 安全に留意し、運動に適した服装、髪型、つめなど - 学習カード、プリントの提出、記入内容 - 授業観察
主体的に学習に取り組む態度	- 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 - 自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	- 授業の様子や発言内容 - 学習カードや授業ノートの記述

3. 学習方法についてのアドバイス

学習の進め方	《確かな学力を身につけるには》 ○運動や健康に興味、関心を持ち、楽しさを知ろう。 ○どんな種目でも積極的にチャレンジしよう。 ○どうすればうまく動けるか課題を理解し、練習を工夫しましょう。 ○仲間と協力して課題解決に取り組もう。 ○専門用語は教科書を使い確認しよう。 ○周りの安全確認を常におこなう。 《家庭学習》 ○基礎体力を向上させる為に、ランニングや筋力トレーニングなどで体力向上をおこないましょう。 ○バランスの良い食事や睡眠など健康を考えた生活を送りましょう。 ○授業内容を図解体育や保健の教科書を使い予習・復習しましょう。○授業プリントの整理 《定期テスト》 ○授業内容を理解し、図解体育や保健の教科書を使い復習しましょう。
学習上の注意等	○どの種目も特性に応じた楽しさがある。活動していく中でその楽しさに触れ、自ら積極的に取り組もう。 ○ルールを守り、安全に留意し、仲間とともに取り組もう。 ○知ること・見ること・実践することを大事にしていこう。 ○家庭生活においても、健康に留意し、病気・怪我などの予防に努めよう。 ○専門的な技能・高いレベルの技能を見て、イメージしよう。忘れ物をしない。

4. 学習予定

時期	各単元と主な学習内容	こんな力をつけよう！
1 学 期	集団行動 体づくり運動	一定の集団がひとまとまりになり行動するときの基本動作を身に付けよう。姿勢、方向転換、集合、整頓、列の増減など一人一人が決まりを理解し、能率よく行動しよう。
	新体力テスト	体力テストにおける各種目の調べる能力を知り、優れている点、足りない点を今後の生活に生かそう。
	保健「けがの防止」・「健康な生活と病気の予防」	健康の保持増進するために、心身の健康に対する環境の影響について理解しよう。けがの発生要因や予防について理解しよう。また、適切な応急手当ができるようにしよう。健康な生活と疾病の予防について関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もう。生活習慣と健康、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解している。
	陸上競技 ・短距離走 ・リレ ・走高跳 保健	なめらかな動きで速く走ろう。(短距離) リズムカルな助走から、力強く踏み切って大きな動作で跳べるようにしよう。(走高跳)
	バレーボール 保健	基本的なパスを身に付け、ポジションの役割に応じて、拾ったりつないだり打ち返したりできるようにしよう。また、スパイクをお用いて攻防をしよう。仲間と連携した動きを習得しよう。
	水泳 保健	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、効率的に泳ぐことができるようにしよう。手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりしよう。(クロール・平泳ぎ)
2 学 期	ダンス 陸上競技 体づくり運動 保健	リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、様々なステップを習得し、リズムに乗って全身で踊ることができるようにしよう。
	器械運動 ・マット運動 ・跳び箱運動 保健	回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行えるようにしよう。切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行えるようにしよう。また、条件を変えた技や発展技にも挑戦しよう。
	ソフトボール 保健	ボールを受ける前の身体の構え方やキャッチするときのグローブ操作、ボールの握り方などの基本的なボール操作と、バットの握り方や振り方などの基本的なバット操作を身に付けよう。
	陸上競技 ・長距離走 保健	自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり競争したりできるようにしよう。
3 学 期	サッカー バスケットボール 保健「運動やスポーツの魅力と学び方」	ボール操作と空間に走りこむなどの動きを身に付けよう。シュートやパスをしたり、ボールをキープするなどのボール操作ができるようになるよう。
	サッカー バスケットボール 保健	ボール操作と空間に走りこむなどの動きを身に付けよう。シュートやパスをしたり、ボールをキープするなどのボール操作ができるようになるよう。
	剣道 保健	竹刀の握り方を習得し、基本的な動作である素振りや面打ちができるようになるよう。

第2学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野(開隆堂)
副教材	技・家ノート、木工実習教材

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期テスト、実技テスト等 ・指導に対する成果物(作品等) ・授業の様子や発言内容	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(作品等)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・特別教室(技術室・PC 室)を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
2 学 期	・材料と加工の技術についての基礎的・ 基本的な知識・技能	・主な材料や加工についての科学的な原理・法則や材料の 製造方法や成形方法などの基礎的な技術の仕組みの理解 することができる。
	・材料と加工の技術による問題解決	・製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等 をすることができる。 ・材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見 いだして課題を設定し解決することができる。
3 学 期	・社会の発展と材料と加工の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた材料と加工の 技術の概念を理解することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、材料と 加工の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新た な発想に基づいて改良、応用したりすることができる。
	・情報の表現と伝達	・使いやすさを工夫した情報の表現をすることができる。 ・メディアを利用した情報の表現をすることができる。

第2学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	新しい技術・家庭 家庭分野(開隆堂)
副教材	技術・家庭科ノート 家庭分野(新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等)	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

主な単元・教材等		主な学習目標
1 学期	B 衣食住の生活（食生活）	1 食事の役割と食習
		・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。 ・健康によい食習慣について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。
		2 中学生に必要な栄養を満たす食事
		・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食品は、栄養的特質により、食品群に分類させることを、理解する。 ・1回の食事を目で見て栄養のバランスがとれているか判断できるようにする。
		3 さまざまな食品とその保存
2 学期	B 衣食住の生活（住生活）	・生鮮食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて生鮮食品を確かな目で選択・保存できる。 ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できるようにする。
		4 日常食の調理
		・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・おいさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し、実践できるようにする。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。 ・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。
	C 私たちの消費生活	5 地域の食文化
		・地域で生産される食材を知り、それを使う意義と和食の調理を理解する。 ・各食品群の食品を組み合わせ、栄養バランスのとれた1日分の献立を考えることができる。 ・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。
		①住まいの役割と住まい方を考えよう
		・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。
		②住まいの安全について考えよう
		・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。
		③災害に備えた住まい方について考えよう
		・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。
		①消費者としての自覚を持とう
		・自分の生活を振り返り、消費生活や環境との関わりについて考える。 ・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について点検する。 ・契約の意味について理解する。
		②販売方法と支払い方法について知ろう
		・具体的な買い物の場面を取り上げ、販売方法や支払い方法について考える。
		③商品の選択と購入について考えよう
		・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。
		④消費者トラブルを解決する方法を考えよう
		・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。
		⑤消費者の権利と責任について考えよう
		・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。
		⑥よりよい消費生活を目指して
		・これまで学習したことを生かして、消費者のひとりとして、環境のため、社会のためにできることを考える。

第2学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 2 光村図書
副教材	めきめき English2 (浜島書店) 観点別評価プリント英語2

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと(やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと(発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等)	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等)	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・自分の考えを積極的に周りに伝え、周りの考えを積極的に取り入れましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的にALTの先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
----	---

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。 ・教科書の本文を、QRコードで聞き、何度も音読しましょう。 ・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。 ・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。
----	---

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1学期	Unit 1 Hajin's Diary	・日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・日記に、出来事や感想などを書くことができる。
	Active Grammar 1 動詞の過去形／過去進行形	・過去の出来事や状況などを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Unit 2 Basketball Tournament	・インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。
	Active Grammar 2 動名詞／不定詞＜名詞的用法＞	・「～すること」という言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 1 電話	・電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。
	Unit 3 Plans for the Summer	・メールから、予定や希望などを読み取ることができる。 ・予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。
	Active Grammar 3 be going to / will	・未来のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 2 アナウンス	・アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。
	Let's Read1 Sukh's White Horse	・物語から、出来事の経過を読み取ることができる。
2学期	World Tour 1 いろいろな単位	・日本とは異なる単位について知ることができる。
	You Can Do It! 1 わが町観光プランをおすすめしよう	・外国からの交換留学生の自己紹介文を読んで、2人の興味関心があることを知ることができる。 ・2人の興味関心に応じた観光プランを考えて発表することができる。
	Daily Life 3 レストラン	・飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。
	Unit 4 Tour in New York City	・ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。 ・施設やできることなどを言って場所を紹介することができる。
	Daily Life 4 道案内	・行き方をたずねたり教えたりする、道案内のやり取りができる。
	Active Grammar 4 目的語	・動詞の目的語について理解し、使うことができる。
	Unit 5 Earthquake Drill	・説明から、どんなものかを聞き取ることができる。 ・防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。
	Daily Life 5 イベントのお知らせ	・複数の掲示板から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。
	Daily Life 6 体調不良	・体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。
	Active Grammar 5 助動詞	・既習の助動詞を整理して理解し、使うことができる。
	Unit 6 Work Experience	・レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。

		・職場で体験したことや感想などを伝えるレポートを書くことができる。
	Active Grammar 6 不定詞＜形容詞的用法・副詞的用法＞	・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解し、使うことができる。
	Active Grammar 7 接続詞	・既習の接続詞を整理して理解し、使うことができる。
	Let's Read 2 Meet Hanyu Yuzuru	・インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。
	World Tour 2 世界を舞台に働く人	・世界で活躍する人たちについて知ることができる。
	You Can Do It! 2 職業診断のチャートを作ろう	・職業についてのコメントを読み、どの職業かを当てることができる。 ・職業診断のチャートを作り、職業診断のやり取りをすることができる。
3 学 期	Unit 7 Amazing Australia	・観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。 ・町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことができる。
	Daily Life 7 観光案内	・音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。 ・観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。
	Active Grammar 8 比較表現	・比較表現を理解し、使うことができる。
	Unit 8 Staging a Musical	・学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。 ・作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。
	Active Grammar 9 受け身の文	・受け身の文について理解し、使うことができる。
	Daily Life 8 音声ガイド	・音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。
	Let's Read 2 Emojis — from Japan to the World	・説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。
	World Tour 3 世界遺産めぐり	・いろいろな国の世界遺産について知ることができる。
	You Can Do It! 3 日本のおもしろいものを紹介しよう	・外国人旅行者のインタビューから、日本でおもしろいと思ったものを聞き取ることができる。 ・日本のおもしろいものを紹介するクイズをすることができる。
	Let's Read more 1 The Statue of Liberty	・紹介文から、自由の女神像の歴史や見どころを読み取ることができる。
	Let's Read more 2 Aboriginal Art	・アボリジナル・アートの紹介文を読んで、その歴史や特徴を読み取ることができる。

「学年の目標」 自分の町や日本文化などについて、内容を整理して伝え合うことができる。

5つの領域	技能目標(CAN-DO)	教材ごとの到達目標	教材名	教科書ページ
Listening 聞く	[L-1]はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができる。	インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。	Unit 2 Goal	p. 26
		アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。	Daily Life 2	p. 41
		会話から、日本とは異なるいろいろな単位を聞き取ることができる。	World Tour 1	pp. 46-47
		各国の世界遺産の紹介から、必要な情報を聞き取ることができる。	World Tour 3	pp. 124-125
	[L-2]はっきりと話されれば、ストーリーや日常的话题について、おおまかな内容を捉えることができる。	ストーリーの概要を捉えることができる。	Unit 1-8 扉Listen	p. 9ほか
		説明から、どんなものかを聞き取ることができる。	Unit 5 Goal	p. 70
		音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。	Daily Life 7	p. 104
		音声ガイドから、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。	Daily Life 8	p. 117
		インタビューから、外国人旅行者の意見を聞き取ることができる。	You Can Do It! 3	pp. 126-127
Reading 読む	[R-1]日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから、必要な情報を読み取ることができる。	メールから、予定や希望などを読み取ることができる。	Unit 3 Goal	p. 38
		自己紹介文から、興味関心があることを読み取ることができる。	You Can Do It! 1	p. 48
		ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。	Unit 4 Goal	pp. 58-59
		複数の掲示物から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。	Daily Life 5	p. 72
		職業についてのコメントから、どの職業の人かを推測することができる。	You Can Do It! 2	p. 92
		観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。	Unit 7 Goal	p. 102
		観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。	Daily Life 7	p. 105
	[R-2]ストーリーや日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた文章から、おおまかな内容を捉えることができる。	本文の内容についての質問(Q)に答えることができる。	Unit 1-8 Story	p. 10ほか
		日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。	Unit 1 Goal	p. 16
		物語から、出来事の経過を読み取ることができる。	Let's Read 1	pp. 42-44
		レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。	Unit 6 Goal	p. 82
		インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。	Let's Read 2	pp. 86-89
		世界で活躍する人たちの説明から、文章の流れを捉えることができる。	World Tour 2	pp. 90-91
		学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。	Unit 8 Goal	p. 114
		説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。	Let's Read 3	pp. 120-121
Speaking 話す (やり取り)	[SI-1]自分のことや興味のあることについて、簡単な語句や文を使って、その場で質問したり、伝え合ったりすることができる。	好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。	Unit 2 Goal	p. 27
		職業診断のチャートを作り、職業診断のやり取りをすることができる。	You Can Do It! 2	p. 93
		自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。	Let's Talk!	とじ込み

	[SI-2]ストーリーや日常 的な話題について、簡単な 語句や文を使って、やり取 りを行うことができる。	電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。	Daily Life 1	p. 29
		飲食店で、注文をしたり何かを依頼したりすること ができる。	Daily Life 3	p. 50
		行き方をたずねたり教えたりする、道案内のやり取 りができる。	Daily Life 4	p. 60
		防災バッグに入れるものを決める、話し合いをする ことができる。	Unit 5 Goal	p. 71
		体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りがで きる。	Daily Life 6	p. 73
Speaki ng 話す (発表)	[SP-1]自分のことや興味 のあることについて、簡単 な語句や文を使って、その 場で話すことができる。	作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を 紹介することができる。	Unit 8 Goal	p. 115
		自分のことについて、その場で話すことができる。	Let's Talk!	とじ込み
	[SP-2]ストーリーや日常 的な話題について、事実や 気持ちを整理して、簡単な 語句や文を使って、まとま りのある内容を話すことが できる。	相手の興味関心に応じた観光プランを考えて、発表 することができる。	You Can Do It! 1	p. 49
		施設やできることなどを言って、場所を紹介するこ とができる。	Unit 4 Goal	p. 59
		クイズ形式で、日本のおもしろいものを紹介するこ とができる。	You Can Do It! 3	p. 127
		ストーリーについて、簡単な語句や文を使い、その 場で話すことができる。	Story Retelling	pp. 128- 135
Writin g 書く	[W-1]自分のことや興味 のあることについて、教科 書や辞書などを参考にし て、正確に書くことがで きる。	日記に、出来事や感想などを書くことができる。	Unit 1 Goal	p. 17
		予定や希望などを伝えるメールを書くことができ る。	Unit 3 Goal	p. 39
		会話をふり返って、自分が言えたことを書くことが できる。	Let's Talk!	とじ込み
	[W-2]日常的な話題につ いて、事実や気持ちを整理 して、簡単な語句や文を 使って、まとまりのある文 章を書くことができる。	職場で体験したことや感想などを伝える、レポート を書くことができる。	Unit 6 Goal	p. 83
		町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことが できる。	Unit 7 Goal	p. 103